

前回(昨年12月17日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」の福岡県の宝満山から太宰府までの歩き旅でした。今日は、大宰府政庁跡(太宰府市)を通り、水城へと歩を進めます。

太宰府天満宮の本宮からは参道が九州自然歩道に設定されています。大きいザックを担いで参拝客の間を歩くのは目立ちますね。参道沿いのお店では太宰府名物「梅ヶ枝餅」が売っています。薄いお餅の中にあんこが入っていて、歩きながら食べるもよし。お店でお茶と一緒に頂

あるこ! 九州自然歩道の旅 ⑩

福島 優



太宰府—水城



古代の防衛施設を眺め

くもよし。行かれた際はぜひお召し上がりください。

参道を抜け、西鉄太宰府駅の交差点から線路の沿線、県道35号を歩いて大宰府政庁跡の方へ向かいます。沿線には今までと違ってコンビニやコインランドリーがあり、補給や装備の調整がしっかり行えます。

大宰府政庁跡の脇には九州自然歩道の大きい地図付きの看板

もよし。行かれた際はぜひお召し上がりください。

参道を抜け、西鉄太宰府駅の交差点から線路の沿線、県道35号を歩いて大宰府政庁跡の方へ向かいます。沿線には今までと違ってコンビニやコインランドリーがあり、補給や装備の調整がしっかり行えます。

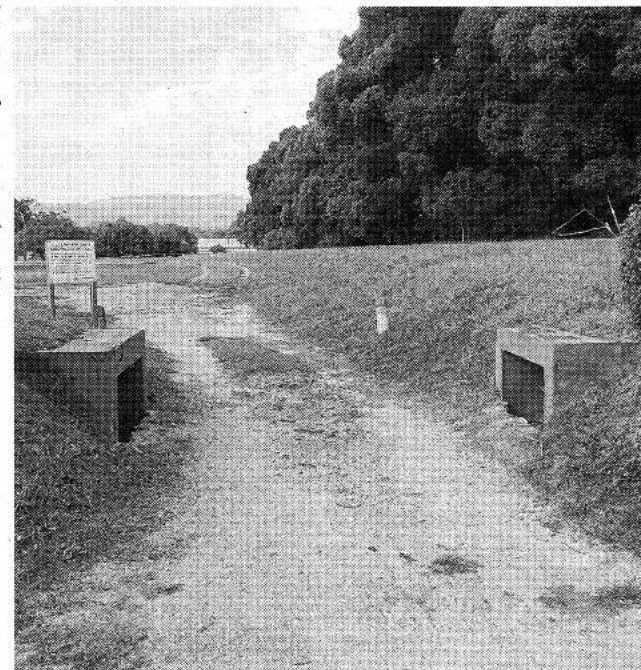
大宰府政庁跡の脇には九州自然歩道の大きい地図付きの看板

もよし。行かれた際はぜひお召し上がりください。

参道を抜け、西鉄太宰府駅の交差点から線路の沿線、県道35号を歩いて大宰府政庁跡の方へ向かいます。沿線には今までと違ってコンビニやコインランドリーがあり、補給や装備の調整がしっかり行えます。

大宰府政庁跡の脇には九州自然歩道の大きい地図付きの看板

政庁跡から国分瓦窯跡へ通じる土道⑩水城跡は歩きやすい道で、緑が多くて癒される



が立っており、そこから右に曲がっていきます。そして看板が左の道を示し、ひっそりとした土道につながっていました。裏道らしき土道を過ぎると、ため池に出できます。ただ、道路までは少し高さがあるため、池沿いを歩いて下っていきます。ポツと閑静な住宅街の一角につながっていました。

さらに進み、国分瓦窯跡を通ると、九州自然歩道の看板があります。町や住宅街に出るとなかなか看板を見ることができないため、見るとほっと一安心。地図を見ながらまっすぐ道を500ほど歩き、大通りに出る前に右折、細い裏道を行きます。

板もあります。

九州自然歩道は、水城跡の南側の小道を通ります。ときおり、犬の散歩やウォーキングをされている方とすれ違い、住民の憩いの場と感ぜられます。のんびり風を受けながら歩いていくと九州自動車道の下に出ました。水城跡は鉄道や高速道によって